

地下油タンク参考寸法一覧表

記 号	容 量 (ℓ)	タンク寸法			T	注 入 口	計 量 口	注 入 口	吸 入 口	排 水 口	基礎寸法			支 柱	本数
		φ	L ¹	L ²							W	H			
T-O-0.95	950	750	2,200	2,540	4.5	65	32	25	40	3,200	3,200	1,500	1,250	4	
T-O-1.5	1,500	850	2,700	3,060	4.5	65	32	25	40	3,700	3,700	1,500	1,350	4	
T-O-1.9	1,900	950	2,700	3,120	6.0	65	32	25	40	3,750	3,750	1,500	1,450	4	
T-O-3	3,000	1,200	2,700	3,218	6.0	65	32	25	40	3,850	3,850	1,500	1,700	4	
T-O-4	4,000	1,300	3,000	3,556	6.0	65	32	25	40	4,200	4,200	1,500	1,800	4	
T-O-5	5,000	1,300	3,000	4,355	6.0	65	32	25	40	5,000	5,000	2,150	1,800	6	
T-O-6	6,000	1,400	4,000	4,555	6.0	65	32	25	40	5,250	5,250	2,250	1,900	6	
T-O-7	7,000	1,500	4,000	4,624	6.0	65	32	25	40	5,300	5,300	2,400	2,000	6	
T-O-8	8,000	1,500	4,600	5,234	6.0	65	32	25	40	5,900	5,900	2,400	2,000	6	
T-O-10	10,000	1,500	5,800	6,442	9.0	65	32	32	40	7,100	7,100	2,350	2,040	6	
T-O-12	12,000	1,800	4,800	5,555	9.0	65	32	32	50	6,200	6,200	2,100	2,300	6	
T-O-13	13,000	1,800	5,200	5,910	9.0	65	32	32	50	6,400	6,600	2,100	2,300	6	
T-O-15	15,000	1,800	6,000	6,756	9.0	65	32	32	50	7,400	7,400	2,100	2,300	6	
T-O-18	18,000	1,800	6,500	7,310	9.0	80			40	7,950	7,950	2,800	2,400	6	
T-O-20	20,000	1,900	7,200	7,966	9.0	80	32	40	55	8,650	8,650	3,000	2,388	6	
T-O-25	25,000	2,000	8,300	9,184	9.0	65	32	32	50	10,100	10,100	3,000	2,868	6	
T-O-30	30,000	2,000	8,200	9,950	9.0	80	32	40	65	9,700	9,700	3,100	2,700	6	

<

(イ) 接続口的位置及び口径等は参考値とする。

(ロ) 上記寸法は、タンク保護方法がアスファルト塗りの場合を示す。

注記

※タンク内面をFRPでライニングすること。

※本図面は参考図のため、数字は参考値として参照すること。

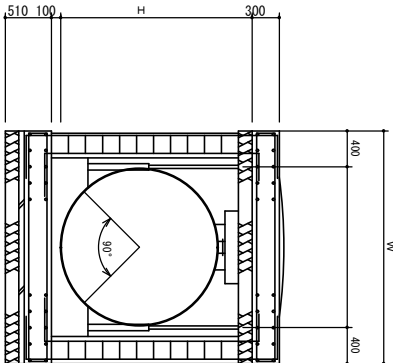
※残油については、2,000Lと想定している。また、廃油については、申請容量の1%と想定している。

※タンク内面の素地調整は、「橋梁塗装設計施工要領（首都高速道路（株）」に規定する素地調整２種以上とすること。

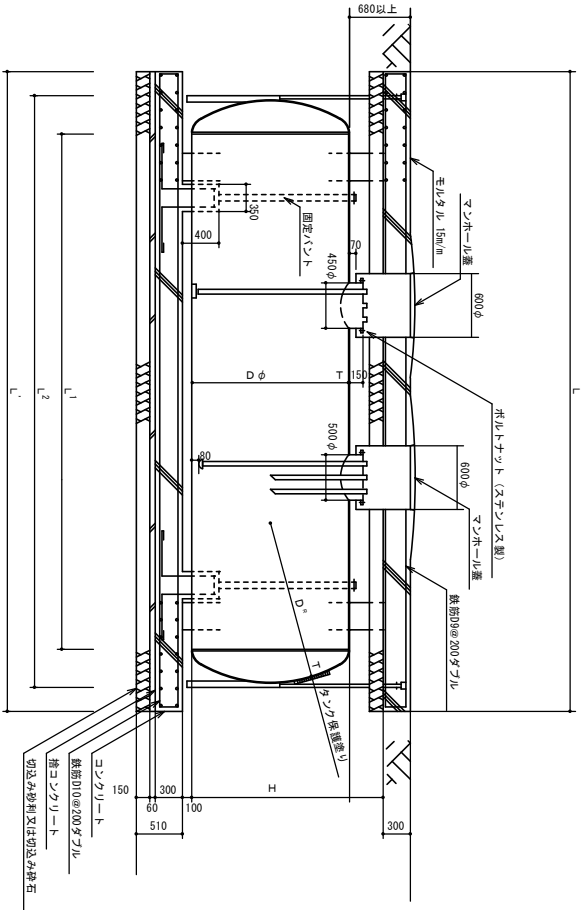
※板厚の測定は、50平方センチメートルにつき4点以上測定すること。

※ライニング施工後に気泡、不純物の混入、施工不良の有無を確認するほか、膜厚計、ピンホール-

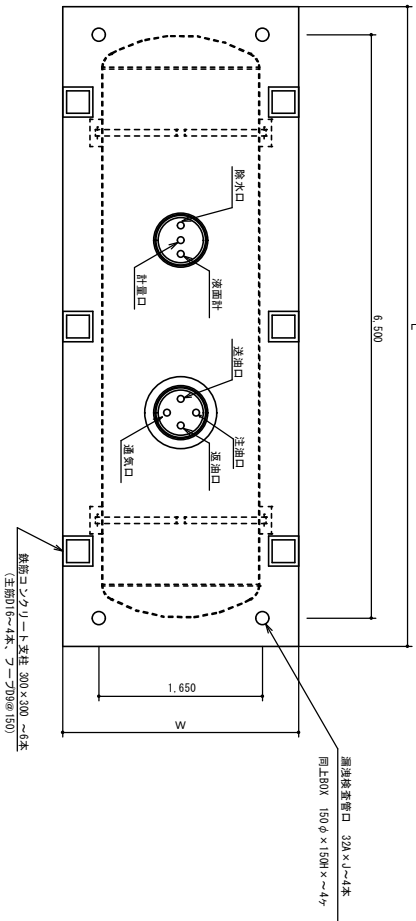
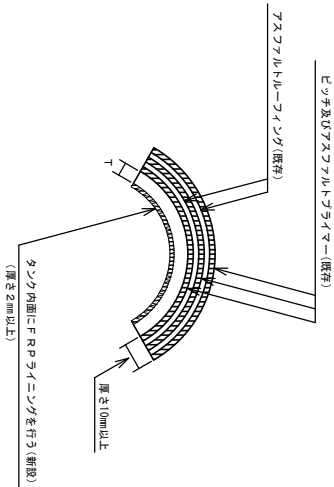
※指定場所にFRPライニング用計量尺（黒アルミ22φ）納品する。



図参考タンク油下地



図参考断面タンク下油底



FRP樹脂及び強化材について

1 FRP は次の樹脂及び強化材から造ること。

(1) 樹脂

日本工業規格（JIS）「機械強化プラスチック用液体不飽和ポリエステル樹脂」（JIS-C8101、UP-CE）又はUP-CEE に係る規定に限る。）に適合する樹脂又はこれと同等以上の耐薬品性を有するビニルエステル樹脂

(2) 強化材

(2) 強化木

日本工業規格 R 3411「ガラスチョップドストランド」

FRP の耐薬品試験について

日本工業規格K0107「繊維強化プラスチックの耐薬品性試験方法」に規定する耐薬品性試験に
おいて日本工業規格K0102「ガラス繊維強化プラスチック製貯蔵槽」6.3に規定する事項に
適合すること。この場合において、試験液は、貯蔵し又は取り扱う危険物とすること。

[illegible]